

裏込め土	基礎地盤	kh=0.200	kh=0.225	kh=0.250
$\phi \geq 25^\circ$	$\phi \geq 25^\circ$	—	—	○
$\phi \geq 30^\circ$	$\phi \geq 30^\circ$	—	—	○
別表第二	別表第三	—	—	○

一覧表No.	51	52	142
型枠種別（規格）	B規格	B規格	B規格
呼 称 ^{※1}	H3000B-250-25	H3000B-250-別	H3000B-250-30
設計水平震度 kh	0.250	0.250	0.250
裏込土 及び 前面土	単位体積重量 γ_s (別表第二)	18 kN/m ³ (砂利又は砂)	16~19 kN/m ³
基礎地盤	内部摩擦角 ϕ (別表第三)	(主働土圧係数 KA=0.35)	$\phi \geq 30^\circ$
	内部摩擦角 ϕ (別表第三)	摩擦係数 $\mu=0.5$ (岩、岩屑、砂利、砂)	$\phi \geq 30^\circ$ ($\phi=30^\circ$ の場合、 $\mu=\tan\phi=0.577$)
	根入れ深さ	擁壁高さの20/100かつ45cm以上	擁壁高さの15/100かつ35cm以上
コンクリート	設計基準強度 F_c 単位体積重量 γ_c	30 N/mm ² (40 N/mm ²) 24.0 kN/m ³ (24.5 kN/m ³)	
鉄筋	種類	SD295 及び SD345	
積載荷重 (固定荷重) q	10 kN/m ² (多雪地域では雪荷重を含む)		
フェンス荷重 水平推力 Pf (短期荷重) 作用高さ Hf	1 kN/m 1.1m		
土圧公式 常 時 地震時	Coulomb(クーロン)式による 物部・岡部式による		
安定計算安全率	常 時 地震時 (大/中)		
転 倒に対して	Fs = 1.50 1.00 以上		
滑 動に対して	Fs = 1.50 1.00 以上		
支持力に対して	長期許容応力度 $\phi \geq 25^\circ$ 及び別表の場合 150kN/m ² 以上 $\phi \geq 30^\circ$ の場合 140kN/m ² 以上 (フェンス設置の場合 +5kN/m ² 、化粧設置の場合 +10kN/m ²)		

長穴 $\phi 14$

穴アケ $\phi 14$

6 50 50 6

30

22 78 5 78 17

200

112

PL 6×200×112
SS400 (HDZ50以上)

ボルト M12
L=30 電気亜鉛めっき

30

80

JLSインサート
電気亜鉛めっき

名称		ザ・ウォールⅡ (耐震型) B規格 直線部 H3000B			
規格		H3000B			
日付		2022.06.10		区分	構造図
図番		B-009		縮尺	1:20
承認	YKT	検図	GTO	設計	製図
		TES		TES	
横江コンクリート 株式会社					

ザ・ウォールⅡ（耐震型）直線部 H3000

H3000B

コンクリート設計基準強度：	30 又は 40 N/mm ²
製品参考質量：	4,750 kg

側面図

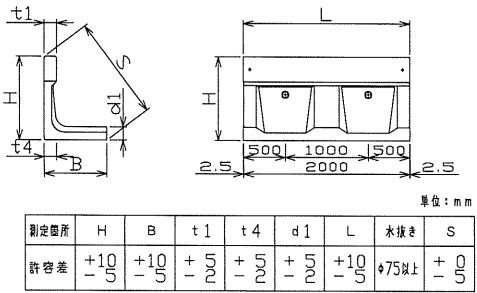
正面図

背面図

底面図

平面図

寸法許容差



単位：mm

- 注 1. 水抜き穴の位置は標準の高さを示す
- 注 2. 吊金具は、DEHAアンカー又はD-リフトアンカーを推奨する
規格は図示した値以上の吊金具を使用すること
吊金具の長さを長くする場合は、被り40mm以上を確保すること
推奨したもの以外を使用する場合は、同等以上の性能である事を確認の上使用すること
- 注 3. 本製品を異形製品として使用する場合は、ザ・ウォールⅡ（耐震型）築造仕様書に適合するものとする
- 注 4. 吊金具の位置は標準であり、安全に施工できる位置を調整してよい
- 注 5. 異形製品で規格値に吊金具が設置できない場合は、安全に施工できる位置に吊金具を設置すること
- 注 6. 中地震 (KH=0.200)、大地震 (KH=0.200、0.225) に使用してもよい

名称	ザ・ウォールⅡ（耐震型）直線部 H3000B			
規格	H3000B			
日付	2022.06.10	区分	製品図	
図番	No. 057	縮尺	1:25	
承認	YKT	検図	GTO	設計
			TES	製図
				SKA
横江コンクリート 株式会社				